



東地区の高齢化を考える



九月二十一日(月・祝)は、敬老の日です。
前橋市では、高齢化率（65歳以上）が30%を超えています。東地区はどうでしょうか？

高齢社会となった今、私たちにできることは何かを考えてみましょう。

NO	町名	人口(人)			65歳以上人口(人)			高齢化率(%)
		男性	女性	計	男性	女性	計	
1	箱田町	2,819	3,026	5,845	593	754	1,347	23.05 (22.69)
2	後家町	448	475	923	63	80	143	15.49 (14.88)
3	前箱田町	689	657	1,346	184	204	388	28.83 (28.09)
4	前箱田町二丁目	199	214	413	52	78	130	31.48 (33.01)
5	川曲町	1,034	1,072	2,106	255	344	599	28.44 (28.79)
6	稻荷新田町	800	867	1,667	157	186	343	20.58 (20.70)
7	下新田町	1,767	1,898	3,665	362	460	822	22.43 (21.88)
8	上新田町	1,698	1,799	3,497	422	512	934	26.71 (26.60)
9	小相木町	1,098	1,088	2,186	231	276	507	23.19 (22.34)
10	小相木町一丁目	132	170	302	46	66	112	37.09 (37.99)
11	古市町	608	581	1,189	122	150	272	22.88 (22.96)
12	古市町一丁目	732	733	1,465	163	223	386	26.35 (26.71)
13	古市町二丁目	29	25	54	7	9	16	29.63 (26.92)
14	江田町	1,247	1,205	2,452	243	282	525	21.41 (20.92)
15	朝日が丘町	113	135	248	27	44	71	28.63 (28.57)
16	光が丘町	294	331	625	93	122	215	34.40 (34.39)
17	大利根町一丁目	644	737	1,381	199	267	466	33.74 (34.09)
18	大利根町二丁目	558	679	1,237	208	297	505	40.82 (41.92)
19	新前橋町	331	346	677	80	102	182	26.88 (27.64)
20	青葉町	306	315	621	34	34	68	10.95 (9.89)
	東地区	15,546 (15,543)	16,353 (16,275)	31,899 (31,818)	3,541 (3,527)	4,490 (4,438)	8,031 (7,965)	25.18 % (25.18)

令和8年6月30日現在の数値です。（ ）内は前年度の数値です。

敬老の日を迎えて

「父を超える96歳を目標に、今日も元気」

小野里 盛司さん（江田町）

敬老の日を迎えるにあたり、東公民館の自主学習グループ「あづま歴史散歩の会」で活動されている小野里盛司さん（95歳）にお話を伺いました。



小野里さんは昭和6年3月生まれ。6人きょうだいの長男として育ち、代々続く農家の9代目として地域とともに歩んでこられました。学校を卒業後は家業を支えつつ、家庭を築き、企業で30年ほど勤務しながら長年にわたり地域の発展にも貢献されてきました。

現在、小野里さんは東公民館の自主学習グループ「あづま歴史散歩の会」に所属されています。この会は昭和62年に東公民館で開催された「ふるさと歴史講座」の受講者26人によって結成されたグループです。以来、およそ40年にわたり活動を続け、現在も月に2回ほど公民館に集まりながら、地域の歴史や文化について学習を続けています。

「歴史を知ることが好きなんだよ」

そう語る小野里さんは、書物で学ぶだけでなく、各地の史跡や古墳を訪ねることも楽しみの一つにされています。地域に残る歴史や先人たちの足跡に思いを巡らせる時間を大切にしているそうです。江田村西遺跡付近で、畑仕事の最中に古墳時代前期（4〜5世紀頃）の土器が出土した経験もお持ちで、文化財保護の取り組みにも力を入れていらっしゃいます。

一方で、小野里さんは長年スポーツに親しんできた方でもあります。学生時代に始めた卓球は、生涯の趣味として続けられ、今年4月まで実際にプレーされていました。ご自宅には卓球専用の練習部屋があり、卓球台と自動でボールが出てくる練習機が設置されています。また、若い頃から剣道に励み、20代では柔道にも取り組まれていました。剣道では五段錬士の資格を持っておられます。長年にわたる鍛錬が、現在の健康な身体につながっているのですね。

取材当日、自転車に軽快に乗っていらっしゃる姿を見し、とても95歳とは思えないほどでした。健康の秘訣について尋ねると、

「出されたものは何でも食べることかな」

と笑顔で答えてくださいました。好き嫌いをせず、何でもおいしくいただくことも長寿につながる大切な習慣のようです。

ご家族について話が及ぶと、

「家族はみんなよくやってくれるからありがたいよ」

と感謝の言葉を口にされていました。その穏やかな表情からは、ご家族との温かな絆が感じられました。

そして、お話の中でたびたび登場したのがお父様の存在です。お父様は三度も戦争に出征し、戦後を懸命に生き抜き、96歳まで長生きされたそうです。

「親父さんは96歳まで生きたんだ。だからまずは親父さんの年齢を超えることが目標だね」

小野里さんはそう穏やかに話されました。その言葉には、お父様への深い尊敬と、自らも前向きに人生を歩み続けようとする強い気持ちが込められているように感じました。

歴史を学び、体を動かし、仲間との交流を楽しみ、家族への感謝を忘れない小野里盛司さん。95歳となった今も好奇心と向上心を持ち続けるその姿は、私たちに「学ぶことに年齢はないこと」「健康は日々の積み重ねによってつくられること」を教えてくださいます。

来年3月にはお父様と同じ96歳を迎えられます。これから、あづま歴史散歩の会の仲間とともに学びを深めながら、ますます元気に活躍されることを願っています。小野里さん、貴重なお話をありがとうございました。



出土した土器